

令和4年11月11日

区民の皆さまへ

足立区医師会 会長 阿部 聡  
公衆衛生部 副会長 山下 俊樹  
大腸がん検診調査委員会委員長 久保田 至

## 平成30年度「足立区大腸がん検診」における誤転記について (足立区医師会の最終報告)

区民の皆さまには、日頃より足立区医師会（以下、「本会」といいます。）の事業運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

平成30年度に本会が受託した「足立区大腸がん検診」において、誤転記が発覚（以下、「誤転記」といいます。）し、区民の皆さまに混乱とご迷惑をおかけしたことについて、深くお詫び申し上げます。

今後、このような問題が再び起こらないように、本会が立ち上げた「大腸がん検診調査委員会」及び足立区が委託した第三者委員会「足立区検診業務調査委員会」において、多くの話し合いが行われました。

誤転記に係る本会としての最終報告について、下記に記載させていただきます。

### － 記 －

1. 令和元年10月25日（金）、足立区より本会に『平成30年度の「足立区大腸がん検診」において検診結果の報告に誤りがあった。』との報告があり、本会は足立区と協力しながら、誤転記のあった111名について、一次検診を行った61施設から当該受診者様への報告・説明及び謝罪を行うとともに、誤転記に係る調査及び今後の大腸がん検診の在り方を協議するために、令和元年12月6日（金）に「大腸がん検診調査委員会」を発足しました。
2. 令和元年12月24日（火）に開催した「大腸がん検診調査委員会」において、『平成30年度「足立区大腸がん検診」における誤転記についての報告書【中間報告書】』を取りまとめ、令和2年1月10日（木）、足立区長に提出しました。
3. 令和3年7月12日（月）、足立区より「足立区検診業務調査委員会」からの答申を受理しました。
4. 上記の対応を踏まえ、誤転記は「複数の要因が重なり発生した。」ことが判明しました。第一に「誤転記の直接的要因となった検診受託会社の変更に伴い、足立区と本会が十分に意思疎通を図れなかったこと」、第二に「検診受託会社の変更について検診受託機関への十分な説明が行われなかったこと」、第三に「検診結果の提示方法が以前の＋、－の記載から陽性、陰性に変更されたこと」が誤転記の大きな要因でありました。
5. 本会は今回の誤転記の発生を真摯に受け止めて反省材料とし、今後このような重篤な事故が起こらないように、足立区と緊密に連絡を行うとともに、検診実施機関への十分な説明を行うことを徹底いたします。区民の皆さまへのご期待に添えるよう、今後の検診業務における精度管理に反映してまいりますので、引き続きご理解・ご協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。

以 上